

2026年12月期 第2四半期

決算説明会資料

株式会社ブロードリーフ

2026年8月12日

第2四半期決算および通期予想	P 3
----------------	-----

成長戦略	P16
------	-----

トピックス	P25
-------	-----

連結（IFRS）

金額は表示単位未満を四捨五入しています。増減額および増減率は、表示前の数値に基づき算出しています。

第2四半期決算および通期予想

- お客様のIT投資マインドは引き続き堅調、クラウド化は順調に進展し、中間期実績は期初計画*を超過（売上収益+3.7%、営業利益+34.3%）
- 下期も大手・準大手のお客様のクラウド化の進展を継続させる他、経済情勢を踏まえた価格改定の実施等により、通期業績予想の達成を見込む

2026年12月期第2四半期（中間期）

・ クラウド化が順調に進展

モビリティ産業の既存のお客様におけるクラウドの移行は計画通り

（ソフトウェアサービス売上: 6,682百万円/前年同期比+31.6%）

・ 非モビリティ産業向けが増加

パッケージソフト販売が計画を上回って推移

売上収益

10,781百万円

（前年同期比+9.8%）

営業利益

1,477百万円

（前年同期比+91.5%）

2026年12月期通期

・ クラウド化の進展を継続

下期も既存のお客様の順調な移行が継続

・ 価格改定を実施（今期売上寄与：1.6億円）

サービス提供にかかる調達や運用コスト上昇を踏まえ、9月よりパッケージソフト「.NSシリーズ」の月額運用サポート代金を平均21%引き上げ

売上収益

23,800百万円

（前期比+14.3%）

営業利益

4,800百万円

（前期比+132.7%）

*2026年2月12日公表（売上収益10,400百万円、営業利益1,100百万円）

お客様のクラウド化が計画通り進展したことにより、前年同期比で増収増益

(百万円)	FY2026 中間期	FY2025 中間期	増減額	増減率
売上収益	10,781	9,819	+962	+9.8%
売上原価	3,390	3,448	-59	-1.7%
売上総利益	7,392	6,371	+1,021	+16.0%
販売費及び一般管理費他	5,915	5,600	+315	+5.6%
営業利益	1,477	771	+706	+91.5%
税引前中間利益	1,392	600	+793	+132.1%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	1,001	417	+585	+140.3%
基本的1株当たり中間利益*	5.54円	2.32円	-	-

*2026年7月1日を効力発生日として1:2の株式分割を実施、記載の値はいずれも分割後換算値

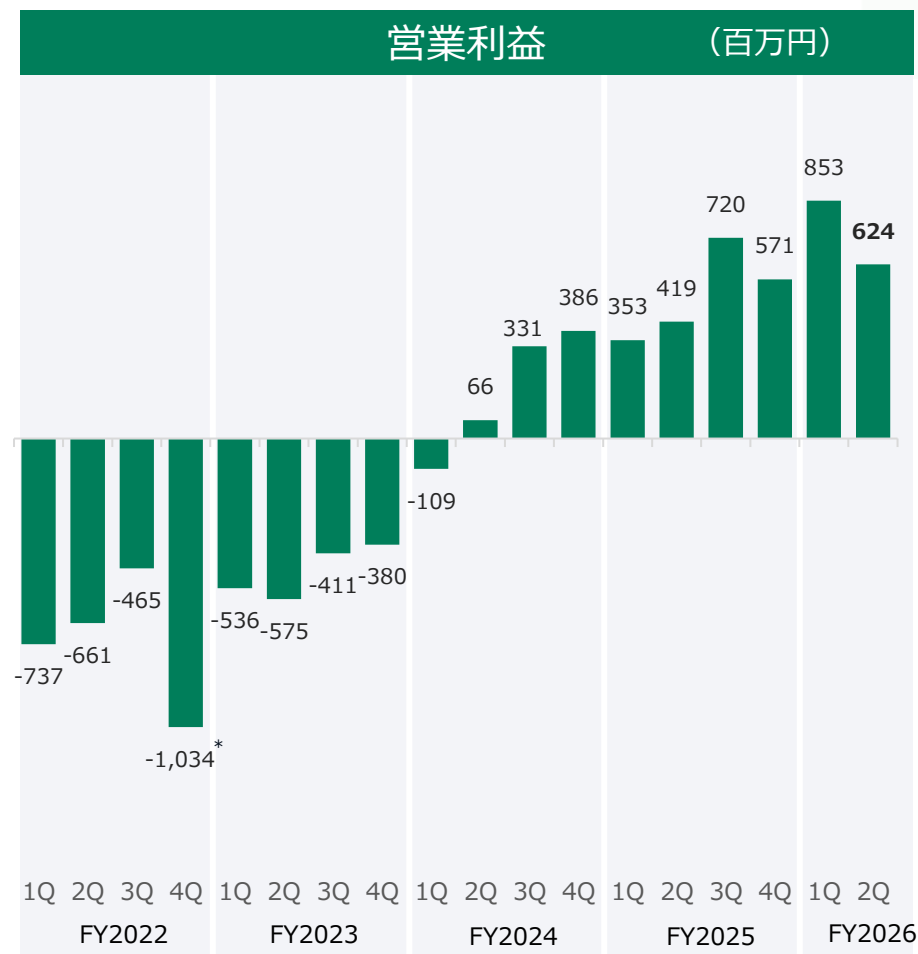
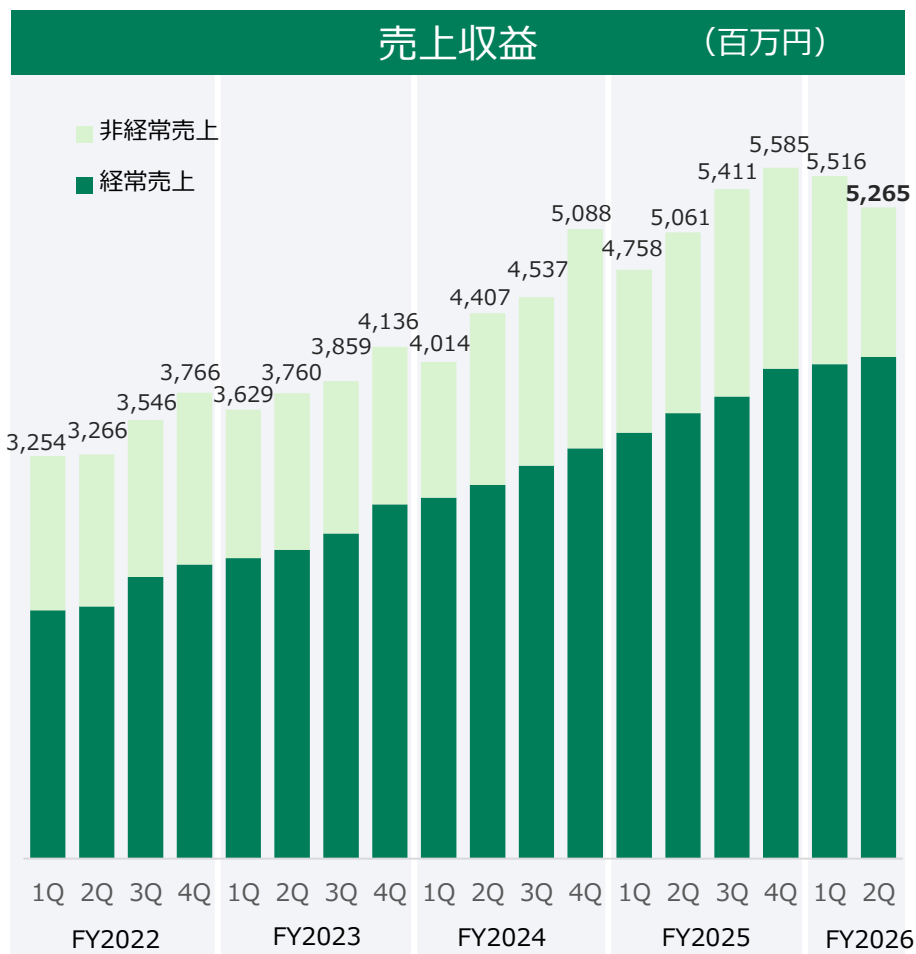
パッケージシステムの契約満了に合わせ、高付加価値なクラウドサービスを提供

(百万円)	FY2026 中間期	FY2025 中間期	増減額	増減率
クラウドサービス	6,923	5,336	+1,587	+29.7%
ソフトウェアサービス	6,682	5,076	+1,606	+31.6%
ソフトウェア	5,959	4,465	+1,494	+33.5%
保守契約費	394	295	+99	+33.4%
初期導入費	329	316	+14	+4.3%
マーケットプレイス	241	260	-20	-7.5%
パッケージシステム	2,541	3,002	-460	-15.3%
ソフトウェア販売	844	719	+125	+17.4%
運用・サポート	1,698	2,283	-585	-25.6%
その他	1,317	1,481	-165	-11.1%
ハードウェア	989	1,142	-153	-13.4%
サプライ	328	340	-12	-3.5%
合計	10,781	9,819	+962	+9.8%
経常売上*	8,051	7,044	+1,007	+14.3%
経常売上比率	74.7%	71.7%	-	-

*経常売上: ソフトウェアサービスのソフトウェア、保守契約費および運用・サポートの合計

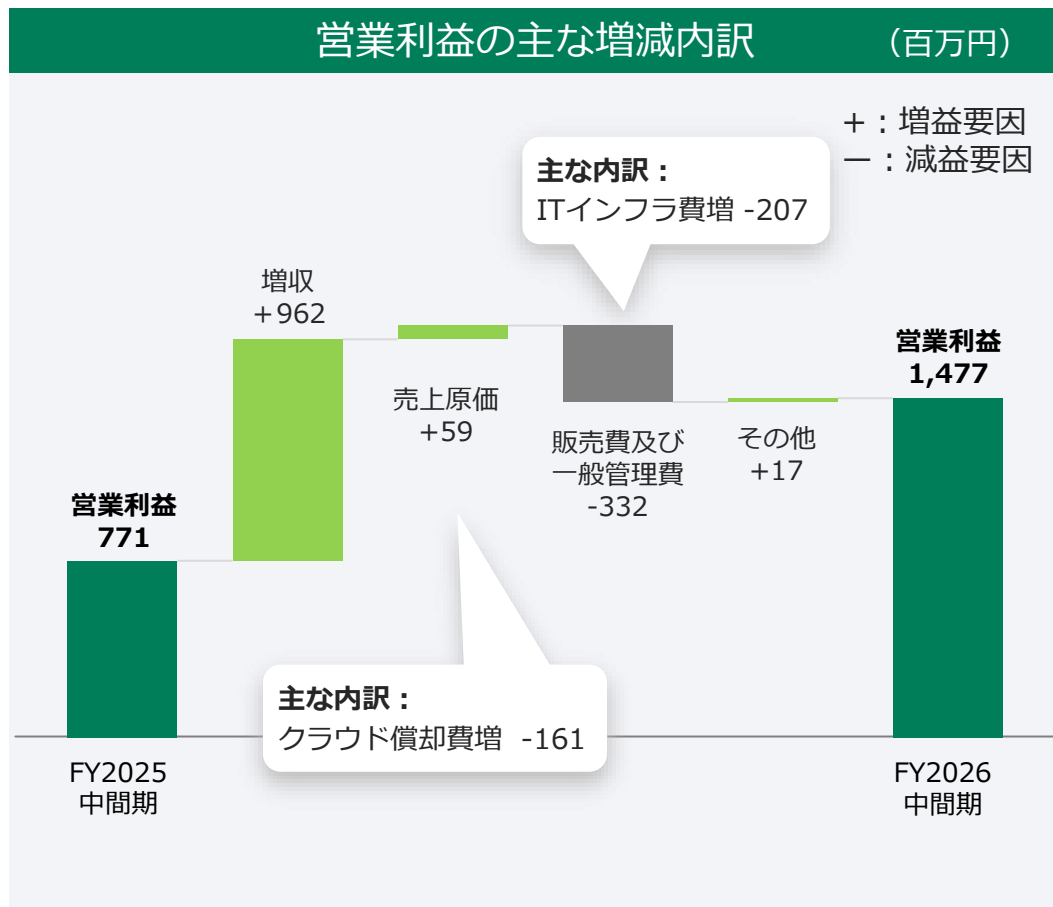
経常売上は18四半期連続で増加

2Qの営業利益は、非経常売上の減少を主因に前四半期比で減少



* FY2022の4Qは子会社のれんの減損を実施 (-615百万円)

お客様のクラウド化の進展と並行し、機能拡張と性能強化への投資を継続



売上原価

- ・クラウドソフトの機能拡張に伴いクラウド償却費が増加
- ・クラウドソフトの初期開発が一段落したため外注費が減少

販売費及び一般管理費

- ・クラウドサービス提供のためのITインフラ費が増加
- ・サービスプロモーション強化やセールス活動の活発化により広告宣伝費や旅費交通費が増加

クラウドサービスの付加価値向上を目的とした開発投資を継続中

(百万円)	FY2026 2Q末	FY2025 期末	増減額	主な増減内訳
流動資産	8,125	8,464	-339	現金及び現金同等物 -361
非流動資産	34,885	32,960	+1,925	有形固定資産 +1,004* 無形資産 +931
資産合計	43,010	41,425	+1,586	—
流動負債	15,480	15,344	+135	契約負債 +248
非流動負債	2,384	1,788	+596	長期有利子負債 +597
負債合計	17,864	17,132	+732	—
資本合計	25,146	24,293	+854	中間利益 +981 配当金 -315
負債及び資本合計	43,010	41,425	+1,586	—

* ブロードリーフ本社オフィスの賃貸借契約更新に伴う使用権資産の計上

収益の増加に伴い、フリーキャッシュフローもプラスへ転換

(百万円)	FY2026 中間期	FY2025 中間期	増減額	主な増減内訳
営業活動によるキャッシュフロー	3,055	2,126	+929	税引前中間利益の増加 +793 営業債権及びその他の債権の減少 +327
投資活動によるキャッシュフロー	-2,252	-2,273	+21	無形資産の取得による支出の減少 +36
財務活動によるキャッシュフロー	-1,164	-556	-608	長期借入金による収入の減少 -497 配当金の支払額の増加 -137
フリーキャッシュフロー	803	-147	+951	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,761	3,622	+139	—

中間期までの売上進捗とコスト状況を反映、過去最高の営業利益となる見通し

(百万円)	FY2026 通期 今回予想	FY2026 通期 前回予想*1	修正額	FY2025 通期	増減額	増減率
売上収益	23,800	23,500	+300	20,815	+2,985	+14.3%
売上原価	7,300	7,000	+300	7,296	+4	+0.1%
売上総利益	16,500	16,500	±0	13,520	+2,980	+22.0%
販売費及び一般管理費他	11,700	11,700	±0	11,457	+243	+2.1%
営業利益	4,800	4,800	±0	2,063	+2,737	+132.7%
税引前利益	4,750	4,750	±0	1,854	+2,896	+156.2%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	3,200	3,200	±0	1,240	+1,960	+158.0%
基本的1株当たり当期利益*2	17.68円	17.68円	-	6.90円	-	-

*1 2026年2月12日公表（売上原価・販売費及び一般管理費の予想値は2026年5月13日に見直しを実施）

*2 2026年7月1日を効力発生日として、1:2の株式分割を実施、記載の値はいずれも分割後換算値

中間期はクラウド化が計画通り進み、売上・利益とも予想超過で着地
下期も計画通りにクラウド化を進めることで、通期業績予想の達成を見込む

(百万円)	FY2026 中間期実績	FY2026 中間期予想*1	FY2026 通期予想*2	進捗率*3 (ご参考)	FY2026 下期予想*4	中間期 実績比*5
売上収益	10,781	10,400	23,800	45.3%	13,019	+20.8%
クラウドサービス	6,923	6,950	15,600	44.4%	8,677	+25.3%
パッケージシステム	2,541	2,350	5,000	50.8%	2,459	-3.2%
その他	1,317	1,100	3,200	41.2%	1,883	+43.0%
営業利益	1,477	1,100	4,800	30.8%	3,323	+125.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,001	700	3,200	31.3%	2,199	+119.7%

売上

- ・ 大手の整備事業者や部品商向け機能を追加したことで、下期から大手のお客様への導入数が増加する予定
- ・ お客様ごとの稼働開始時期に沿って順次クラウド導入を推進（必要な導入リソースも確保済み）
- ・ 現時点で、下期のクラウド導入計画に影響する大きな事象は顕在化していない
- ・ 中間期実績の予想超過により、5月時点の想定に比べ、通期予想に占める下期の比重は低下

コスト

- ・ コスト計画からの大きな変動要因は想定せず
(中間期のコスト実績を踏まえ、下期のコスト見通しを更新)

*1 2026年5月13日公表

*2 2026年8月12日公表

*3 対通期予想進捗率は参考値、通期達成の判断にはクラウド導入の進捗が重要

*4 下期予想 = 通期予想 - 中間期実績

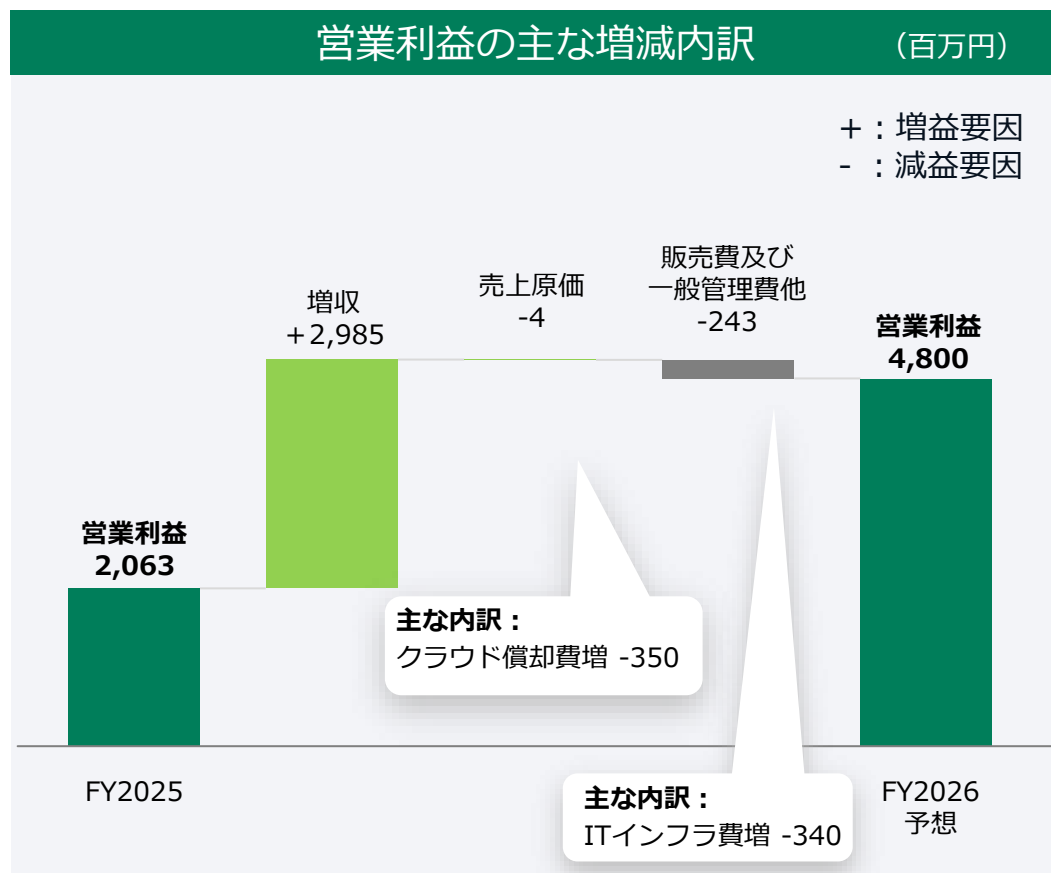
*5 中間期実績比 = (下期予想 - 中間期実績) ÷ 中間期実績

お客様のクラウド化が進み、ソフトウェアサービスが大幅増収となる見通し

(百万円)	FY2026 通期 今回予想	FY2026 通期 前回予想*	修正額	FY2025 通期	増減額	増減率
クラウドサービス	15,600	15,600	±0	11,832	+3,768	+31.8%
ソフトウェアサービス	15,100	15,000	+100	11,302	+3,798	+33.6%
マーケットプレイス	500	600	-100	530	-30	-5.6%
パッケージシステム	5,000	5,000	±0	5,699	-699	-12.3%
ソフトウェア販売	1,600	1,800	-200	1,441	+159	+11.0%
運用・サポート	3,400	3,200	+200	4,258	-858	-20.1%
その他	3,200	2,900	+300	3,285	-85	-2.6%
ハードウェア	2,600	2,300	+300	2,613	-13	-0.5%
サプライ	600	600	±0	672	-72	-10.7%
合計	23,800	23,500	+300	20,815	+2,985	+14.3%

* 2026年5月13日公表

付加価値向上に向けた投資を実施する一方で、業務の効率化を継続推進



売上原価

- ・クラウドソフトの機能拡張に伴い、クラウド償却費が増加
- ・原価計上となる開発費が減少 (外注費を含む)

販売費及び一般管理費他

- ・クラウドソフト提供のためのITインフラ費が増加
- ・営業活動や販促の活発化に伴い旅費交通費や広告宣伝費が増加
- ・AI活用による業務効率化を通じ各種経費の増加を抑制

株式流動性などを含めた総合的な観点で、配当政策を適宜検討する方針

1株当たり配当金*

	FY2026 実績	FY2026 予想	FY2025
中間配当	7.50円	-	2.50円
期末配当	-	4.00円 (8.00円)	3.50円
年間配当	-	- (15.50円)	6.00円
連結配当性向	-	43.8%	43.5%

配当政策

【基本方針】

株主還元を経営の重要課題と位置づけており
連結配当性向「40%以上」を目処

株式価値の向上につながるよう、株式流動性などを
含めた総合的な観点から、機動的に株主還元策を検討

【補足】

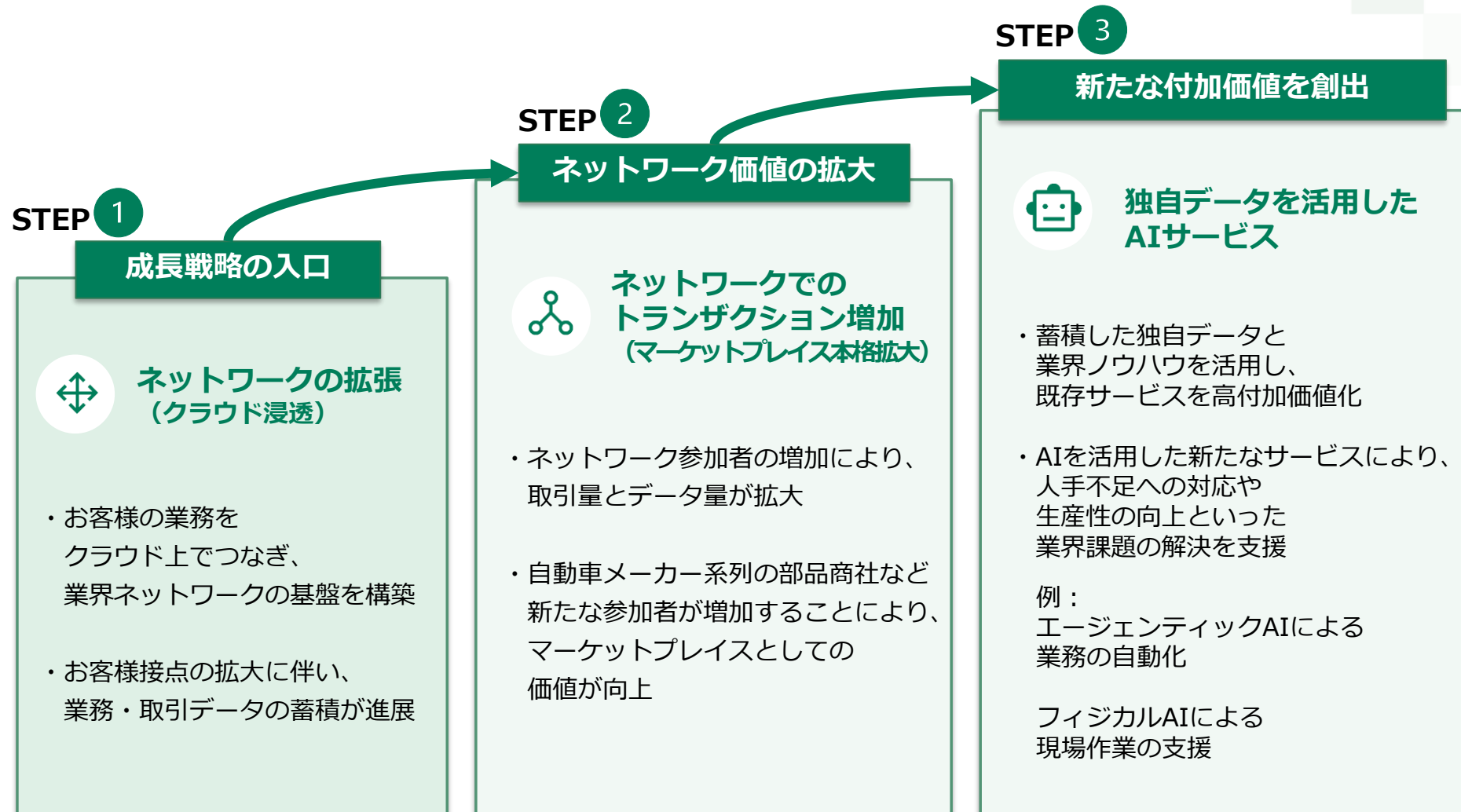
2027年12月期以降は、AI時代における新たな
成長戦略の検討と合わせ、資本政策を策定する方針

*2026年7月1日を効力発生日として、1:2の株式分割を実施

2026年12月期の期末配当予想4.00円は株式分割後の金額であり、括弧内には株式分割前の基準に換算した金額を記載しております。
2026年12月期の年間配当予想は、中間配当実績7.50円と、期末配当予想4.00円を株式分割前の基準に換算した8.00円との合計で、
株式分割前換算では15.50円となります。これは、2025年12月期の年間配当実績6.00円に対して、9.50円の増配となります。

成長戦略

お客様のクラウド化を起点に、業界ネットワークとデータを拡大
蓄積したデータを活用した新たなサービスにより、業界の課題解決を目指す



成長戦略の効果を早期に発現させるため、準大手以上のクラウド導入を先行
今期後半から大手部品商への導入も開始し、業界ネットワークの拡張を推進

主に準大手以上のお客様に導入

主に小規模なお客様へ導入

FY2026

FY2027

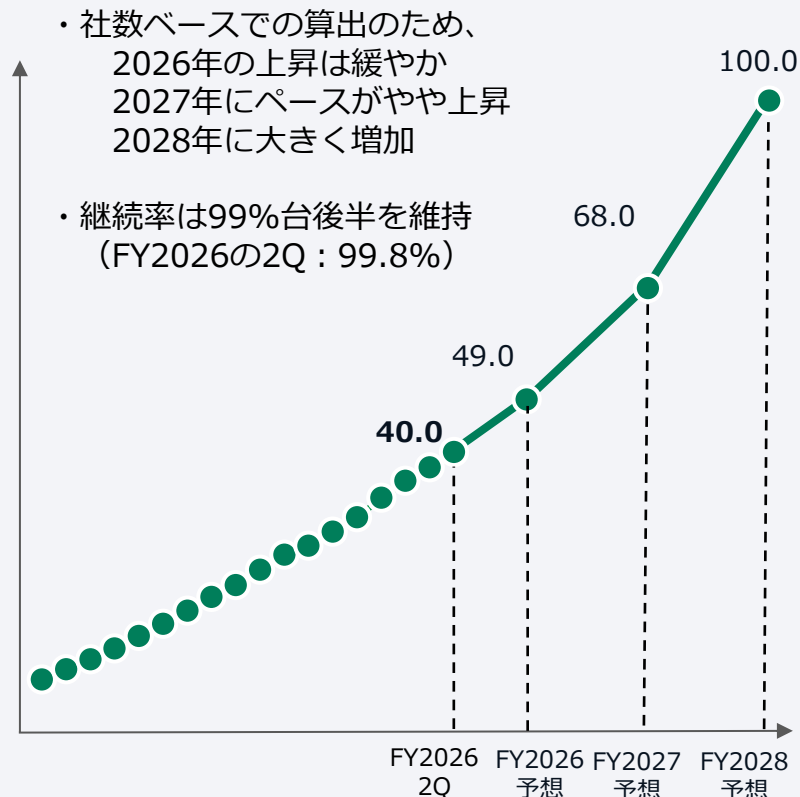
FY2028

FY2026施策

- ✓ 準大手以上のモビリティ産業のお客様を計画に沿ってクラウドソフトに移行
（下期からは一部大手部品商への導入も開始）
- ✓ 新規のお客様のうち重点対象先を設定し、クラウドソフト販売を強化
- ✓ 3rdパーティSIerによるクラウドソフトのアドオン（拡張機能）開発

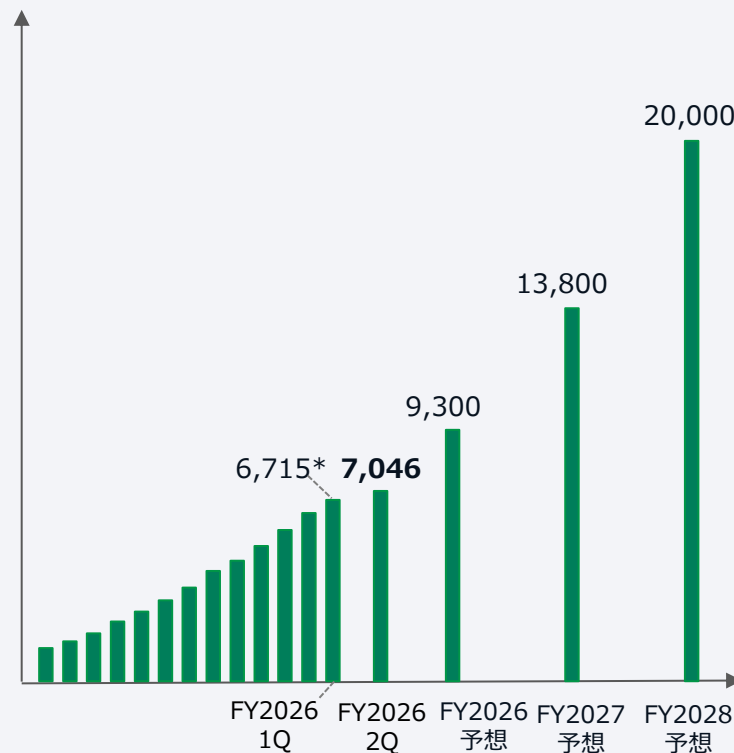
準大手以上の導入を先行し、小規模のお客様はFY2027後半から増えるため、社数ベースのクラウド化率は2026年中は緩やかに上昇、2027年以降は加速

クラウド化率（四半期末、%）



ARR（四半期末MRR×12、百万円）

・2028年末でのARRは計画通り200億円に達する見込み



補足）クラウド化率：各四半期末時点でのリリース済みクラウドソフトの全対象企業のうちクラウドソフト導入済み企業の割合

ARR：クラウドソフト「.cシリーズ」の年間経常売上（四半期末MRR×12）

四半期末MRR：クラウドソフト「.cシリーズ」の月間経常売上であり、各四半期最終月（3月・6月・9月・12月）を算出対象とし、

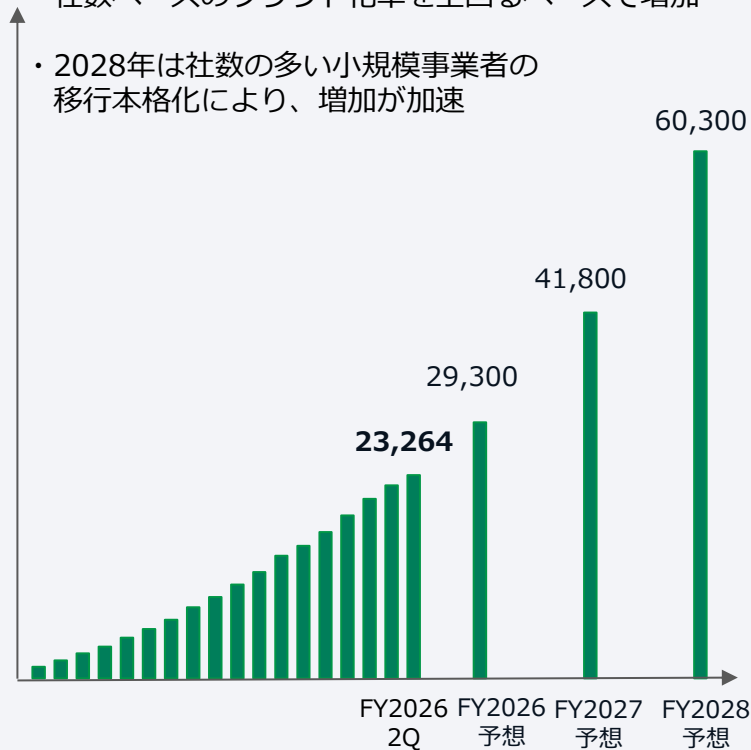
標準版と特定大手版を合わせた月間総売上から初期導入費等の一時的売上を除外して算出

*P21に補足情報を記載

お客様の規模に応じた段階的なクラウド化により、 ライセンス数は概ね直線的に上昇する一方、ARPLの上昇は緩やかとなる見込み

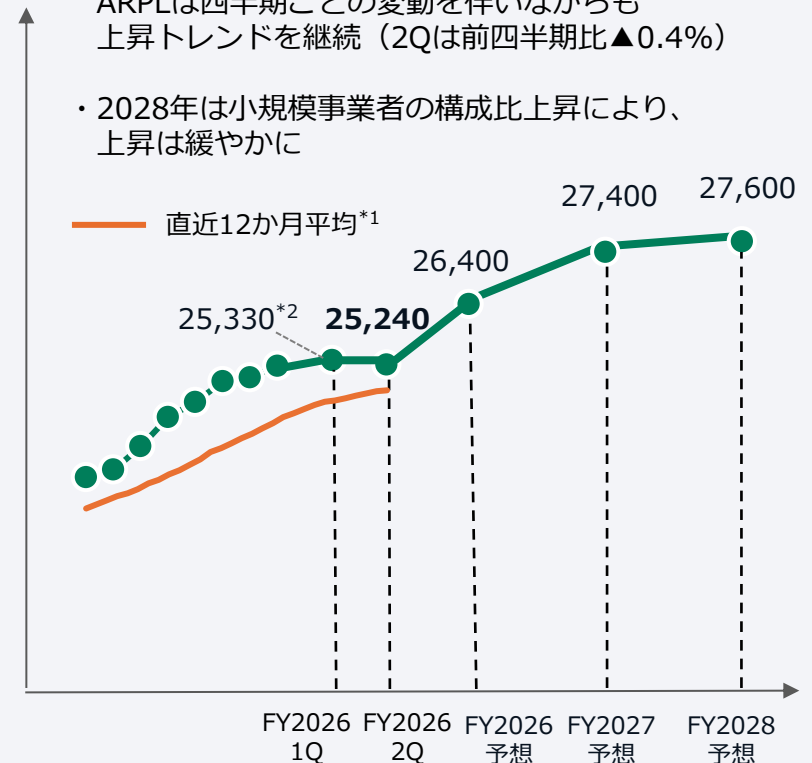
ライセンス数（四半期末）

- ・ 2026～2027年は、準大手以上のお客様への導入が中心となるため、社数ベースのクラウド化率を上回るペースで増加
- ・ 2028年は社数の多い小規模事業者の移行本格化により、増加が加速



ARPL（ライセンス当たり月額売上、円）

- ・ 2026～2027年は、準大手以上のお客様の構成比率が上昇するため、ARPLは四半期ごとの変動を伴いながらも上昇トレンドを継続（2Qは前四半期比▲0.4%）
- ・ 2028年は小規模事業者の構成比上昇により、上昇は緩やかに



補足) ライセンス数：業種別ライセンスと職種別ライセンスの合計総数
 ライセンス当たり月額売上 ARPL（Average Monthly Revenue Per License）：
 クラウドソフト「.cシリーズ」における1ライセンス当たりの月間平均売上（四半期末MRR÷ライセンス数）

*1 詳細はデータブックに記載

*2 P21に補足情報を記載

3月のクラウドソフト月額売上（MRR）のうち、
3rdパーティ（アドオン開発を行うSIer）向けの一括売上の影響を補正*

2026年3月（1Q末月）

（5月13日公表時）

MRR 576百万円

ARR 6,907百万円

ライセンス数 22,090

ARPL 26,058円



2026年3月（1Q末月）

（8月12日補正値を公表）

MRR 560百万円

ARR 6,715百万円

ライセンス数 22,090

ARPL 25,330円

**MRRに3rdパーティ向けメニューの使用料を含むが、3月は一括計上した売上も含めて集計
一括売上額16百万円を除きARPL 25,330円、1Q末ARR 6,715百万円に補正**

*本補正はMRRの集計方法を精緻化したことによるものであり、連結業績への影響はありません。

**補足）FY2027およびFY2028の予想は2026年2月12日公表値であり、
2026年8月12日に公表したFY2026予想の修正内容は反映していません。
今後の精査により修正が必要となった場合は、速やかに公表します。**

(百万円)	実績				予想*		
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
クラウドサービス	2,748	5,459	8,210	11,832	15,600	20,900	26,800
ソフトウェアサービス	2,078	4,810	7,626	11,302	15,100	19,600	24,300
マーケットプレイス	670	649	584	530	500	1,300	2,500
パッケージシステム	9,230	8,021	7,450	5,699	5,000	4,500	3,300
ソフトウェア販売	2,430	1,828	1,941	1,441	1,600	1,600	1,500
運用・サポート	6,800	6,194	5,508	4,258	3,400	2,900	1,800
その他	1,854	1,904	2,386	3,285	3,200	2,100	1,900
ハードウェア	1,108	1,156	1,689	2,613	2,600	1,500	1,300
サプライ	746	749	697	672	600	600	600
合計	13,833	15,385	18,045	20,815	23,800	27,500	32,000

* FY2026は2026年8月12日公表
FY2027およびFY2028は2026年2月12日公表

**補足）FY2027およびFY2028の予想は2026年2月12日公表値であり、
2026年8月12日に公表したFY2026予想の修正内容は反映していません。
今後の精査により修正が必要となった場合は、速やかに公表します。**

(百万円)	実績				予想*1		
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
売上収益	13,833	15,385	18,045	20,815	23,800	27,500	32,000
営業利益*2	-2,897	-1,902	674	2,063	4,800	9,000	13,000
営業利益率	-	-	3.7%	9.9%	20.2%	32.7%	40.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益*2	-2,431	-1,487	343	1,240	3,200	6,000	8,500
当期利益率	-	-	1.9%	6.0%	13.4%	21.8%	26.6%
基本的 1株当たり当期利益*3	-	-	1.93円	6.90円	17.68円	33.14円	46.95円

*1 FY2026は2026年8月12日公表

FY2027およびFY2028は2026年2月12日公表

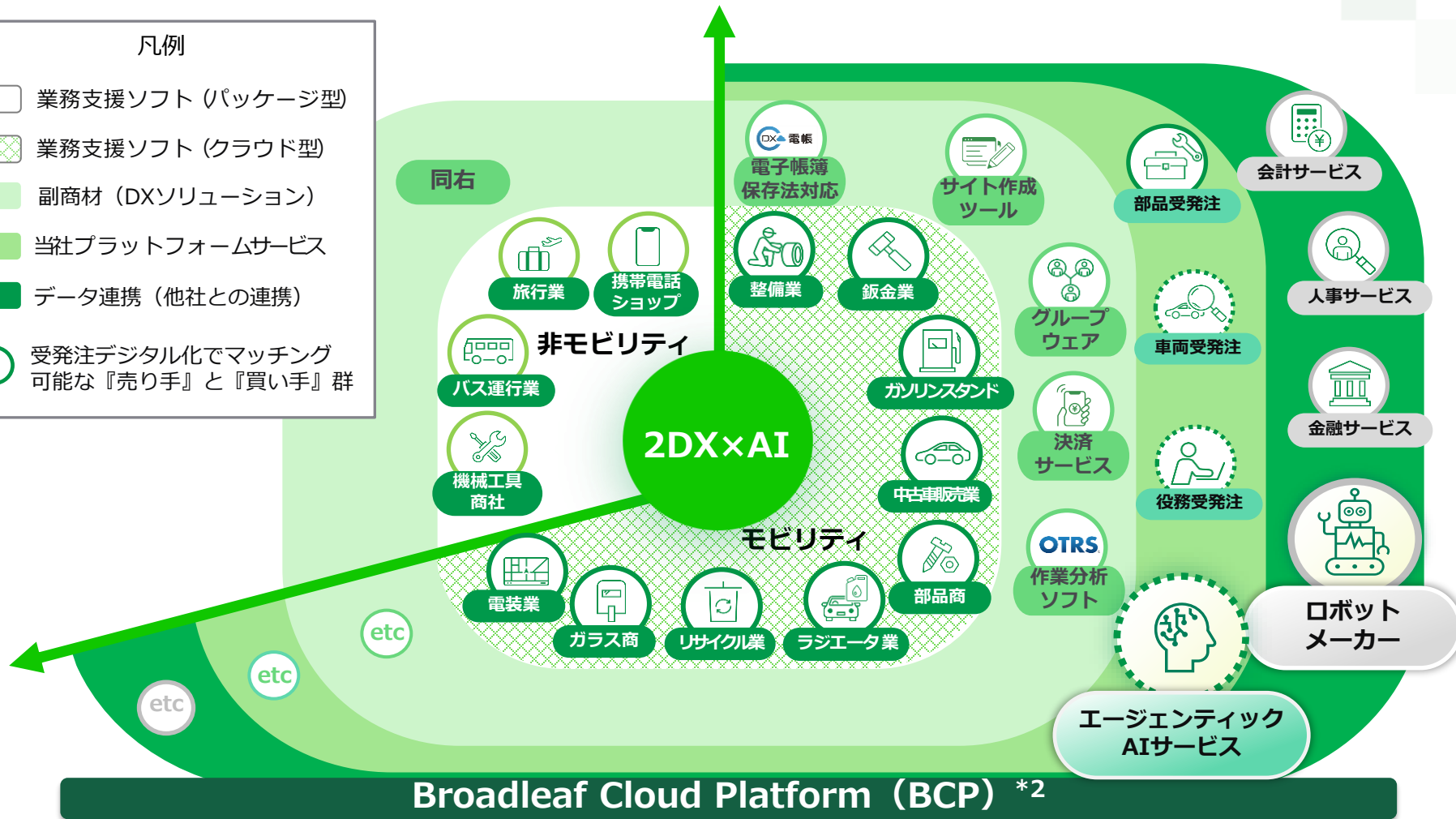
*2 -は損失

*3 2026年7月1日を効力発生日として、1:2の株式分割を実施、記載の値はいずれも分割後換算値

2DX^{*1}×AIによるサービスの拡張を継続しており、
独自データを活用したAIサービスの実用化を推進中

凡例

-  業務支援ソフト (パッケージ型)
-  業務支援ソフト (クラウド型)
-  副商材 (DXソリューション)
-  当社プラットフォームサービス
-  データ連携 (他社との連携)
-  受発注デジタル化でマッチング可能な『売り手』と『買い手』群



^{*1} 2DX : Digital TransformationとData Exchangerを表す標語、ブロードリーフの登録商標

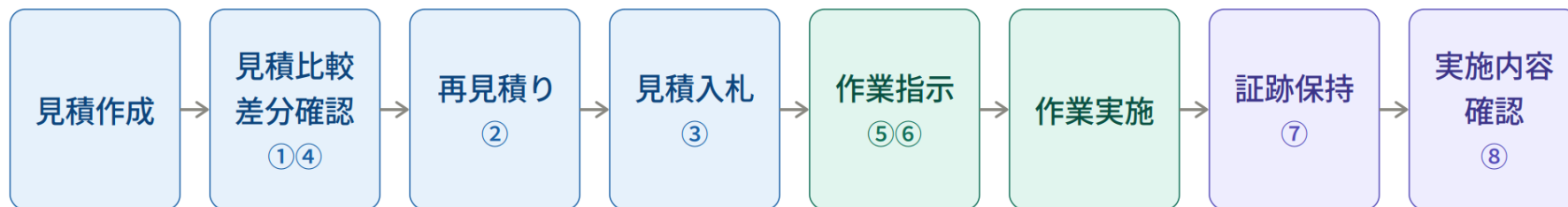
^{*2} Broadleaf Cloud Platform (BCP) : 当社のクラウドサービスやマーケットプレイス型サービス、外部サービスとの連携を支える共通IT基盤

トピックス

自動車整備における見積確認から作業実施確認までの各段階で、不正と疑われる処理を検知可能な技術に関連する特許8件を取得しました。（2026年4月発表）

取得した主な特許は、整備・钣金・修理に関わる見積内容の比較を行い、見積確認から作業実施確認までの各段階での不正と疑われる処理を検知可能とするものです。また、この特許に関連して、車載故障診断装置（OBD）から取得される診断情報を活用した再見積り、整備工場による見積入札、見積差分の判断、作業指示、作業証跡保持などに関するものです。

【取得した特許の主な対象領域】



■ 見積フェーズ

■ 作業フェーズ

■ 確認・管理

- ①見積同士の比較による相違点の把握
- ②OBD情報を活用した再見積り
- ③整備工場による見積入札
- ④見積差分の判断

- ⑤作業コンピュータへの作業指示連携
- ⑥相違点合意後の作業指示
- ⑦ハッシュ値を用いた見積エビデンス保持
- ⑧整備記録簿を用いた作業実施内容の確認

詳細はこちら



https://www.broadleaf.co.jp/company/press/press_detail/?itemid=357&dispmid=1002

2026年5月15日・16日の2日間、広島県三原市大和町大草にて、創業20周年記念事業として全社員参加による植樹イベントを実施しました。本イベントでは、植樹地周辺に自生する広葉樹を中心とした27種、計2,700本の苗木を植樹し、新たな「ブロードリーフの森」づくりを開始しました。（2026年6月発表）

本イベントは、ブロードリーフが2008年より推進している企業参画型環境保全活動「GrowLeafプロジェクト」で培ってきた知見を活かし、当社として初めて、自社主導で地域の皆さまのご協力をいただきながら実施した、地域協働型の森づくりです。

当日は全国各地の拠点、そしてグループ会社の社員約800名に加え、「GrowLeafプロジェクト」の会員企業の方々が参加しました。5月15日の開会式では、広島県議会議員の桑木 良典様にご挨拶いただきました。また、三原市経済部 農林水産課 課長の久保 和通様、同課 林務畜産係 係長の茂見 鉄平様、広島県農林水産局 森林保全課の方々にもご臨席いただきました。

記念植樹



写真左から、広島県議会議員 桑木 良典様、当社代表取締役社長 大山堅司、一般社団法人森林再生整備事業体サンラ 代表理事の蔵田 和樹様



写真前列 三原市経済部 農林水産課 課長 久保 和通様、当社代表取締役社長 大山堅司、
写真後列 三原市経済部 林務畜産係 係長 茂見 鉄平様



詳細はこちら



https://www.broadleaf.co.jp/company/press/press_detail/?itemid=359&dispmid=1002

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、
資料作成時点での入手可能な情報に基づき当社で判断した予想であり、
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、
これらの業績予想とは異なる可能性がありますので、あらかじめご承知ください。

お問い合わせ先

株式会社ブロードリーフ
インベスターリレーションズ室
E-mail : bl-ir@broadleaf.co.jp